

## 東洋療法教育専攻科 教員紹介

ほんま あきのぶ  
**本間 明信 先生** (講師)

### 【研究発表・論文】

昭和 55 年	電気学習における第一概念(1) (宮城教育大学紀要 15, 176-188, 1980) 本間 明信
昭和 57 年	GSR による授業研究:授業場面での個人の GSR (宮城教育大学紀要 17, 320-335, 1982) 本間 明信
昭和 58 年	GSR による授業の研究(2): 授業 GSR 反応類型(1) (宮城教育大学紀要. 第 2 分冊, 自然科学・教育科学 18, 86-100, 1983) 本間 明信
昭和 59 年	GSR による授業の研究-3-授業 GSR 反応類型-2-「微動型」 (宮城教育大学紀要 第 2 分冊 自然科学・教育科学 (19), p72-88, 1984) 本間 明信
昭和 60 年	G.S.R.による授業研究-4-相互作用分析カテゴリ-と教師・生徒の精神活動 (宮城教育大学紀要 第 2 分冊 自然科学・教育科学 (20), p27-49, 1985) 本間 明信
昭和 61 年	GSR による授業研究-5-マイクロコンピュータによる授業 GSR 記録--授業における集中と GSR 反応の集中・分散 (宮城教育大学紀要 第 2 分冊 自然科学・教育科学 (21), p135-154, 1986) 本間 明信
昭和 62 年	一週間のなかでみた,授業中の情動変化の個性(教師と子どもたち): GSR による授業研究 (6) (宮城教育大学紀要. 第 2 分冊, 自然科学・教育科学 22, 123-134, 1987) 本間 明信
昭和 63 年	林竹二「人間について」を見る(その 1): GSR による 授業研究(8) (宮城教育大学紀要. 第 2 分冊, 自然科学・教育科学 23, 61-78, 1988) 本間 明信
昭和 57 年	C-10 記入式全天白星座標による星・月の学習 (年会論文集 6, 127-128, 1982) 本間 明信, 鈴木 清龍, 小石川 秀一, 永沢 義人
昭和 57 年	E-28 GSR による授業研究: 社会科,地図ぬりの場合 (年会論文集 6, 279-280, 1982) 本間 明信
昭和 58 年	1CP-6 教師から見た授業中における児童の「反応のよさ」 : GSR におけるその意味 (年会論文集 7, 57-58, 1983) 本間 明信

昭和 59 年 8 月	A115 「恐竜」の視覚教材が授業中の子どもたちに与える情動的興奮：説明文の授業での GSR (年会論文集 8, 54-55, 1984-08-25) 本間 明信
昭和 60 年 7 月	A212 地質時代階層断面図の開発：「人類の時代」から入る地層の学習(1) (年会論文集 9, 196-197, 1985-07-25) 鈴木 清龍，本間 明信，高谷 隆夫，鈴木 洋
昭和 60 年 7 月	C210 記入式赤道型全天白星座表の指導カリキュラム開発(2) (年会論文集 9, 240-241, 1985-07-25) 本間 明信
昭和 61 年 7 月	F115 理科個別化実験場面での精神活性：GSR による授業研究 (年会論文集 10, 263-264, 1986-07-23) 本間 明信
昭和 62 年 7 月	生理情報による教材の評価(教育番組のタクソノミー開発-番組分析と視聴行動の研究-) (MME 研究ノート：multi media education 44, 79-89, 1987-07) 本間 明信
昭和 62 年 7 月	理科実験の精神活動に及ぼす影響 (日本科学教育学会研究会研究報告 2(1), 47-50, 1987-07-11) 本間 明信
昭和 62 年 7 月	教科教育とマイクロコンピューター (<シンポジウム>教科教育とコンピュータ) (日本科学教育学会研究会研究報告 2(1), 63-64, 1987-07-11) 本間 明信
平成元年	林竹二「人間について」を見る(その 2): GSR による 授業研究(9) (宮城教育大学紀要. 第 2 分冊, 自然科学・教育科学 24, 73-80, 1989) 本間 明信
平成 1 年 3 月	優秀な模擬生徒・新鮮な授業内容(「模擬授業」新しい授業研究の提言<特集>) -- (提言・授業研究としての「模擬授業」--その意義を考える) (現代教育科学 32(3), p9-12, 1989-03) 本間 明信
平成 2 年	授業雰囲気への新しい接近：ほかの生理情報との関係も含めて,GSR 研究今後の課題 (宮城教育大学紀要. 第 2 分冊, 自然科学・教育科学 25, 215-227, 1990) 本間 明信
平成 2 年 4 月	第 11 章 GSR 反応のほとんど出ない、もしくは極めて不活発な状況について(番組分析と視聴学習行動の研究：放送教育番組のタクソノミーの開発を目指して) (研究報告 18, 187-193, 1990-04) 本間 明信
平成 3 年	授業における表情の集団的運動反応について：GSR 集団反応とは別の集団的運動反応 (宮城教育大学紀要. 第 2 分冊, 自然科学・教育科学 26, 179-191, 1991) 本間 明信

平成4年2月	第7章 歌を「歌う」ことと歌を「視る(聴く)」こととの違い：GSR反応と「まばたき」反応(映像教材の構成と機能の分析に関する研究<最終報告>1991) (研究報告 45, 123-133, 1992-02) 本間 明信
平成4年8月	いま問い直す『斎藤喜博の授業論』(2) (日本教育学会大会研究発表要項 51, 197, 1992-08-27) 有園 格 , 横須賀 薫 , 高田 清 , 井上 光洋 , 望月 善次 , 廣川 和子 , 本間 明信
平成6年	ネットワーク環境での学習支援システム (宮城教育大学紀要. 第2分冊, 自然科学・教育科学 29, 111-123, 1994) 安江 正治 , 本間 明信
平成6年	授業雰囲気の記事：授業雰囲気への新しい接近 (宮城教育大学紀要. 第2分冊, 自然科学・教育科学 29, 309-324, 1994) 本間 明信
平成7年11月	教育実習援助のための教育情報：宮城教育大学における教育実習援助のための情報 (日本教育工学会大会講演論文集 11, 89-90, 1995-11-03) 本間 明信
平成8年	理科実験授業中の教師の情動変化(1)：GSRによる授業研究 (宮城教育大学紀要. 第2分冊, 自然科学・教育科学 31, 161-175, 1996 ) 本間 明信
平成8年11月	教師の働きかけによる子どもの情動変化の規律：授業中の学習者の情動変化に関する研究(2) (日本教育工学会大会講演論文集 12, 599-600, 1996-11-03) 董 玉二 , 本間 明信
平成8年11月	理科実験授業中の教師の情動変化 (日本教育工学会大会講演論文集 12, 597-598, 1996-11-03) 本間 明信
平成9年3月	新しい教授学への道を探る(2): 高橋金三郎・林竹二の教授学と教育実践 (<日本教育学会第55回大会報告>V ラウンドテーブル) (教育學研究 64(1), 112-113, 1997-03-30) 本間 明信
平成9年5月	理科授業中の子ども個人の情動変化のタイプ：授業中の学習者の情動変化に関する研究(3) (日本科学教育学会研究会研究報告 11(6), 29-34, 1997-05-10) 董 玉崎 , 本間 明信
平成11年3月	斎藤喜博「島小の第一年」 (教育における臨床の学 (1), 51-66, 1999-03) 本間 明信
平成12年10月	宮城教育大学情報機器操作カリキュラム(初年度) (教育工学関連学協会連合全国大会講演論文集 = Joint Conference on Educational Technology 6(2), 139-140, 2000-10-07) 本間 明信

平成12年10月	宮城教育大学情報機器操作カリキュラム(初年度) (日本教育工学会大会講演論文集 16(2), 139-140, 2000-10-07) 本間 明信
平成13年3月	斎藤喜博「島小の第一年」(2)河原に道ができた (教育における臨床の学 (2), 1-17, 2001-03) 本間 明信
平成13年3月	資料 『島小研究集会要項』 (教育における臨床の学 (2), 1-21, 2001-03) 本間 明信
平成14年3月	表現活動における協同作業の精神的側面(授業研究と教育評価) (日本教育工学会研究報告集 02(2), 45-50, 2002-03-02) 佐藤 麻里子, 本間 明信
平成15年12月	小学生に教える電圧の概念: 交流100ボルト電源を使って(主題「科学教育の実践研究の支援とその構築を目指して」) (日本科学教育学会研究会研究報告 18(4), 25-28, 2003-12-06) 本間 明信
平成15年8月	授業展開の初歩(玉村小初任教師にみる): 「授業」の成立 (日本教育学会大会研究発表要項 62, 220-221, 2003-08-20) 本間 明信
平成16年8月	群馬県玉村小学校研究誌『草原』の発見と復刻(14 初等教育) (日本教育学会大会研究発表要項 63, 170-171, 2004-08-25) 本間 明信
平成17年8月	戦中における授業研究と授業記録(16 教育方法,自由研究発表II,発表要旨) (日本教育学会大会研究発表要項 64, 188-189, 2005-08-20) 本間 明信
平成18年8月	島小教育の原型(4 教育方法,自由研究発表II,発表要旨) (日本教育学会大会研究発表要項 65, 154-155, 2006-08-21) 本間 明信
平成18年8月	日本の授業研究の伝統(ラウンドテーブル4 日本の授業研究の伝統,発表要旨) (日本教育学会大会研究発表要項 65, 222-223, 2006-08-21) 本間 明信, 吉村 敏之
平成19年8月	「見る」「見える」の教授学: 日本の授業研究の伝統(28-【A】教育方法(4),2 一般研究発表II,発表要旨) (日本教育学会大会研究発表要項 66, 248-249, 2007-08-21) 本間 明信
平成19年8月	6.島小学校『学習形態』再考(5 ラウンドテーブル,発表要旨) (日本教育学会大会研究発表要項 66, 346-347, 2007-08-21) 本間 明信, 吉村 敏之, 坂元 秋子, 川嶋 環
平成20年8月	R6.島小学校の授業記録: 『授業の典型』を求めて(ラウンドテーブル,発表要旨) (日本教育学会大会研究発表要項 67, 356-357, 2008-08-21) 本間 明信, 吉村 敏之

平成 20 年 8 月	島小学校授業記録の異同：『典型』ということ(25. 【一般 A-6】 教育方法(生徒・生活指導を含む)(1),一般研究発表 II,発表要旨) (日本教育学会大会研究発表要項 67, 230-231, 2008-08-21 ) 本間 明信
平成 21 年 8 月	斎藤喜博の孤立：玉村小学校と島小学校(【一般 A-5】 教育方法(生徒指導・生活指導含む)(1),一般研究発表 II,発表要旨) (日本教育学会大会研究発表要項 68, 224-225, 2009-08-12 ) 本間 明信
平成 21 年 8 月	学習形態再考(ラウンドテーブル 11,発表要旨) (日本教育学会大会研究発表要項 68, 444-445, 2009-08-12 ) 本間 明信 , 吉村 敏之 , 川嶋 環 , 室田 明美 , 古屋 和久
平成 20 年	何のために授業を研究するのか(授業研究の目的) (宮城教育大学紀要 43, 223-230, 2008 ) 本間 明信
平成 21 年	教材開発の原則：「円周率」の学習プラン (宮城教育大学紀要 44, 237-250, 2009 ) 本間 明信
平成 22 年	斎藤喜博、学習形態の成立をめぐる (宮城教育大学紀要 45, 227-239, 2010 ) 本間 明信
平成 23 年	体系と教育(1)：無意識と教育 (宮城教育大学紀要 46, 223-229, 2011 ) 本間 明信
平成 24 年	体系と教育(2)：教えるための体系 (宮城教育大学紀要 47, 337-343, 2012) 本間 明信
平成 24 年 8 月	授業研究(日本の伝統)：斎藤喜博と林竹二(ラウンドテーブル 8,発表要旨) (日本教育学会大会研究発表要項 71, 90-91, 2012-08-22 ) 本間 明信 , 吉村 敏之 , 伊藤 新司
平成 25 年	『草原』全 10 号の発見と復刻 (宮城教育大学紀要 48, 271-279, 2013) 本間 明信
平成 25 年 8 月	昭和初期の授業研究(ラウンドテーブル 12,発表要旨) (日本教育学会大会研究発表要項 72, 94, 2013-08-27 ) 本間 明信 , 吉村 敏之
平成 25 年 8 月	群馬県佐波群玉村小学校、校内研究誌『草原』の発見と復刻(昭和初期の授業研究,ラウンドテーブル 12,発表要旨) (日本教育学会大会研究発表要項 72, 94-95, 2013-08-27 ) 本間 明信

平成 25 年 8 月	『草原』全 10 号の発見と復刻：昭和初期の授業研究(【一般 A-2】教育史(a),一般研究 発表【A】 ,発表要旨) (日本教育学会大会研究発表要項 72, 126-127, 2013-08-27) 本間 明信
平成 26 年	島小学校の授業記録：「典型」ということ (宮城教育大学紀要 49, 281-289, 2014) 本間 明信